

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)

【公表番号】特表 2002-509074 (P2002-509074A)

【公表日】平成 14 年 3 月 26 日 (2002.3.26)

【出願番号】特願 2000-528300 (P2000-528300)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	9/08	(2006.01)
A 6 1 K	9/12	(2006.01)
A 6 1 K	9/14	(2006.01)
A 6 1 K	9/48	(2006.01)
A 6 1 K	9/70	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/08	(2006.01)
A 6 1 K	47/10	(2006.01)
A 6 1 K	47/44	(2006.01)
A 6 1 K	47/46	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/04	(2006.01)
A 6 1 P	27/14	(2006.01)
A 6 1 P	37/00	(2006.01)
A 6 1 P	37/08	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	9/08	
A 6 1 K	9/12	
A 6 1 K	9/14	
A 6 1 K	9/48	
A 6 1 K	9/70	4 0 1
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	45/08	
A 6 1 K	47/10	
A 6 1 K	47/44	
A 6 1 K	47/46	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	27/14	
A 6 1 P	37/00	
A 6 1 P	37/08	

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

炎症応答に関連して、好酸球増加症、気道応答性、およびT h型応答のうちの1以上によって特徴付けられる疾患から哺乳動物を保護するための医薬の製造のための、熱ショックタンパク質の使用。

【請求項 2】

前記疾患が、アレルゲンに対する感作に関連する、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

前記疾患が、アレルギー性ぜん息である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の使用であって、前記熱ショックタンパク質が、H S P - 6 0 ファミリー熱ショックタンパク質、H S P - 7 0 ファミリー熱ショックタンパク質、H S P - 9 0 ファミリー熱ショックタンパク質またはH S P - 2 7 ファミリー熱ショックタンパク質である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 5】

前記熱ショックタンパク質が、ミコバクテリア熱ショックタンパク質である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 6】

前記熱ショックタンパク質が、ミコバクテリア熱ショックタンパク質 - 6 5 (H S P - 6 5) である、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 7】

前記熱ショックタンパク質が、前記哺乳動物の気道応答性亢進を低減する量で提供される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 8】

前記医薬が、約 0 . 1 μ g / K g 哺乳動物体重 ~ 約 1 0 m g / K g 哺乳動物体重の間の量で投与される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 9】

前記医薬が、抗炎症剤をさらに含む、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 1 0】

炎症応答に関連して、好酸球増加症、気道応答性、およびT h型応答のうちの1以上によって特徴付けられる疾患から哺乳動物を保護するための医薬の製造のための、熱ショックタンパク質の使用であって、該医薬が、熱ショックタンパク質または該熱ショックタンパク質をコードしている核酸、ならびに薬学的に受容可能な賦形剤からなる、使用。